

# 輸入関税がゼロ 日本農業は壊滅的

現在政府は、TPP（環太平洋連携協定）への参加をどうするか検討しています。菅首相はTPPの参加に積極的だともいわれています。そもそもTPPとは何なのか、もう一度復習してみましょう。

## 「TPP」とは

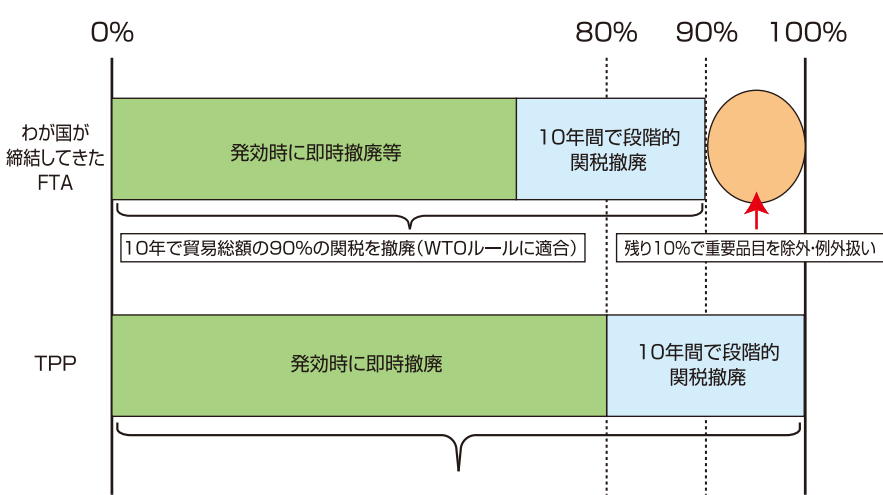
TPPは、原則として全ての品目の関税を10年以内に撤廃するのが特徴で、自由化の除外・例外品目を認めていません。農林水産物の関税撤廃だけでなく、国内制度の規制緩和・撤廃を含めた包括的な内容です。これまで日本が締結してきたFTA（自由貿易協定）では、全品目の10%程度を関税撤廃から除外・例外扱いしてきましたが、これらと比べれば極めてハードルの高いFTAがTPPといえます。

### TPP参加国(9カ国)

- 米国
- チリ
- シンガポール
- オーストラリア
- ブルネイ
- マレーシア
- ニュージーランド
- ペルー
- ベトナム

TPPとは、2006年に発効したシンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイの4カ国による包括的FTAを発展させ、米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアの5カ国を加えた9カ国で交渉している広域経済連携協定。

### わが国が締結してきたFTAとTPPの関税撤廃に関する根本的な違い



交渉締結にまず貿易総額の80%の品目について関税を撤廃し、残り20%を段階的に関税撤廃  
 ⇒将来的に100%の関税削減をめざすものであり、除外・例外品目が認められない